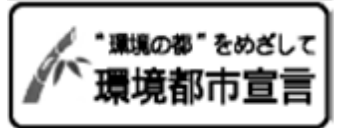


環境の都ニュース

2013. 7. 1 NO. 70



発行：長岡京市
環境の都づくり会議

発行責任者：江川 宗治
編集担当者：山本 雅夫

第7回環境講演会 ―〈城陽環境パートナーシップ会議〉の話を聴いて―

取組みたい事業の“夢”『エコプラザ長岡京』（仮称）を実現に！

長岡京市生活学校 片山洋子



「できることから始めよう」、「できる人が参加しよう」のスローガンがすご〜く気に入りました。長岡京市第2期環境基本計画では2030年を最終目標年次に掲げています。その策の一つとして持続可能なまちづくりの基本理念「資源・エネルギーが循環する地域をつくります」のスローガンがありますが、その具体策として次のようなことを私的に考えてみました。

一部の方はご存じと思いますが、“京田辺エコピークかなび”が開設した発端は「ごみ減らしの取組み」の一つから始められました。

私達の生活の中で不用となった品物が眠っていませんか？

バブル時代ほどのことはないとしても、子どもの成長と共に不用になった衣類や玩具、買ってサイズが合わなくなった衣類、手を通さなくなった着物、棚に入ったまんまの食器等・・・を提供していただき、安く販売します。

焼却して灰にすればどれだけのCO₂が排出されるか。CO₂削減と叫んでいる昨今です。

一般的に言って、企業は助成金、補助金も出ますのでCO₂削減には積極的ですが、家庭はそのような制度もないので消極的です。

そこで次の様な夢策を考えてみました。

1. 市民のエコ意識を高める：「できることから始めよう」、「できる人が参加しよう」
2. 商店街の活性化：「人のにぎわいをつくろう」
3. 行政と諸団体とリンクする：「月に一度、日・場所を決め、ご家庭の不用品バザーを開き、広く市民に安く販売する」⇒売上金の用途はもちろん“エコ事業に！！”

私の“夢策”です。ありがとうございました。



平成25年度第1回西山ファミリー環境探検隊

期日：2013年5月6日（月・振替休日）
主催：西山森林整備推進協議会

参加者：総勢67名

- 〔内訳〕・公募参加者親子30名
- ・自然観察指導員京都連絡会4名
- ・京都府立大学森林ボランティアサークル「森なかま」21名
- ・市役所（西山森林整備推進協議会）3名
- ・環境の都づくり会議4名（古澤、草場、三上、加藤）
- ・ボーイスカウト1名
- ・里山再生市民フォーラム2名
- ・リビング京都（取材）2名

今年は5月に入ってから肌寒い日が続いたのですが今日は暖かく快晴です。9時30分集合、体操の後、9時50分、4班に分かれて出発。

＜西代橋～立石橋～キャンプ場手前＞ タンポポ（和、洋）、キンポウゲの黄色が目立ちます。黒竹の藪に沢かにかが上ってきていました。

立石橋から林道にかかったところで、学生さんがハナイカダを見つけました。今日のお目当てのハンミョウをがけの巣穴のところで見ることができました。金属光沢で青色、赤色、緑色が混じっています。

＜いのししのぬた場＞ 途中林道はずれ、川を渡り、がけ道（冒険コース）をよじ登ったところがぬた場です。就学まえの幼児も混じっていたのですが何とか降りたり、登ったりできました。いのししが身体をこすりつけた切り株からいのししの毛を10本ほど採取しました。

＜お昼ごはん＞ お弁当と豚汁（竹の子が一杯）、お代わりしました。

＜店開き＞ 自然観察指導員の方からカラスノエンドウ、みみずなどを教えてもらいました。植物のほか、シートの上に乗っていたのは とかげ、かたつむり、かなへび、みみず、かえるなどです。

＜デザート＞ 焼き竹の子（わさび醤油味、にんにく醤油味）、コーヒー、くろもじティー、串焼きパン、マシュマロ串焼き、その場でこしらえた竹の長串が気に入って、最後まで杖代わりに持って帰った子がいます。

＜田圃観察＞ まだ水がはってありません。でもかえるをつかまえることができました。田圃のぬかるみに足を取られた人が数人いて大騒ぎ。

＜参加者インタビュー＞ 各班の学生さんの班長さんに子どもたちにインタビューしてもらいました。京都府立大学の学生さんたちが、頑張って子どもたちをサポートしてくれました。

＜キャンプ場～西代橋＞ 帰りは全部林道で、下り道なので40分ほどでちょうど15時に帰着しました。

- （その他）・終日、リビング京都さんに取材いただきました。
- ・次回は7月28日（日）水あそびです。7月市民広報募集です。
- ・竹林再生PJTから、焼き竹の子と豚汁用の竹の子を提供いただきました。

報告 里山再生PJT 加藤克巳



観察風景

花を咲かそう P J T

花いっぱい・・

西山公園体育館と中央公民館の花の植え替え作業を5月31日に行いました。

独自の花を定着させるため、種苗園を設けて栽培もおこなっています。

そこでは連携するPJTから竹チップや竹炭の提供を受けて利用するとともに、腐葉土の促成にもチャレンジ中です。

珍しい花苗の提供を歓迎します 培養し適地定植を試行します。（写真右）

花を咲かそうPJT 奥西



2013/05/31 18:14





第十小学校 滝の町ビオトープの体験学習

6月12(水)恒例になっている滝ノ町ビオトープ清掃を第十小の子供達50名、先生3名が行ってくれました。写真下:小畑川の昔に住んでいた魚の話を滝ノ町の皆さんに行ってもらいました。

写真右:一番人気のある投網の実技を渡辺さんの指導のもとに実施しました。その後全員でビオトープ周辺の雑草を取り除きました。

報告:ビオトープPJT 小根田



長法寺小 小泉川水質調査

6月8(土)長法寺小のすくすく教室の子供達を引率して小泉川で水質調査、水生生物採集等を行いました。更に魚釣り、ささぶね流しをして遊びました。外気温30度近くありましたが水温は16度と冷たく良い水遊びが出来ました。さわがに、ヒラタかげろうが採集できました。ヒラタカゲロウは魚釣りの餌になりました。魚は釣ることが出来ませんでしたが子供達には、初めての経験で興味を持ったようです。(写真右)

参加者:子供 11名、父兄2名、世話役2名
環境の都づくり会議6名

報告:ビオトープPJT 小根田



第68回 環境教育ミーティング

演題:腐葉家族で生ごみ処理

講師:増田恵美子さん

日時:平成25年 7月18日(木)夜7~9時 会場:長岡京市立中央公民館2階・講座室

講師のプロフィール

長岡京市在住、本業は文化財複製。2007年、長岡京市の生ごみ処理機モニター事業に参加。そこに発生した虫・アメリカミズアブとの出会いを契機に、生ごみコンポストとそこに発生する虫について考察したブログを開設。

2011年~2012年、長岡京市廃棄物減量等推進員に公募委員として参加。

2012年から「生ごみ堆肥化普及会」の代表として「腐朽活動」を続けています。

詳しくは「腐葉家族」のfacebookページをご覧ください。

お話の内容

「腐葉家族」は、地元産の腐葉土を使用して好気性細菌の働きで生ごみを堆肥化・減量する、地産地消の生ごみ処理システムです。費用がかからず、庭や畑が無くても省スペースで簡単に生ごみ処理ができて臭いも気になりません。でも時には虫が湧く事も...でも大丈夫!虫発生はトラブルではなく、生ごみの分解を手伝ってくれる強い味方なのです。自分の出した生ごみと向き合う事は、食生活を見直し、身の回りの自然を見直すきっかけにもなります。環境を見つめる窓...とも言える「腐葉家族」を家族の一員として迎え入れ、楽しく生ごみ減量を始めてみませんか!?

環境教育PJT 西村日出男

入場無料



「長岡京市環境の都づくり会議」の事務所を下記の所に新設しました。
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1 長岡京市多世代交流ふれあいセンター内



光・土・風のパワー感じたよ！

ゆりかご保育園



大きなシャボン玉

6月5日は、世界環境デーです。
この日に、毎年ゆりかご保育園では、職員と環境の都づくり会議エコチームのメンバーの方と、協業で園児に自然エネルギーの大切さを伝えるためのイベントを実施しています。

第一部は、保育士による、パネルシアターを通じて、給食に使われた野菜くずが土に変わること。植物が育つためには、土や太陽の光・水が必要なこと。限りがあるので大切に使うことを幼児組が植えたプチトマトを題材に園児に伝えました。

第二部は、環境の都づくり会議 エコチームのメンバーの方による出し物でした。園庭で噴霧器を使って虹を見たり、大きなシャボン玉や手にのせてもこわれないシャボン玉・大きなシャボン玉が風に乗ってふんわり浮かぶと、園庭一杯子どもたちの笑顔とともに歓声で包み込まれました。紙

飛行機や風車を一緒に作り、風にのせて飛ばしたり、回したりと楽しみながら風の力を体で感じていました。動く木のおもちゃの「うさぎとカメ」では、ロープを交互に動かしても、うさぎがカメになかなか追いつかない様子から「どうしてだろう？」不思議さに気づく可愛いつぶやさも聞こえました。梅雨が明けると、夏本番。新園ホール前に高さ8mのゴーヤカーテンを設置し(写真右)夏に向けての暑さを和らげ節電効果を期待しながら子ども達と一緒に収穫する楽しみにチャレンジ中。どこまで伸びてくれるかな? 身近な自然や植物・生き物から限りある資源を大切にすることをしっかりと育み大切に伝えていきたいと思えます。おひさま発電所サンさん1号設置から早10年。市民の方々と行政の方々、保育園とのパートナーシップによって生まれたおひさま発電所を通じて環境教育につながり、地域の方々の思いは今も、パネルから園児の胸の中に燦々と降り注がれています。



ゴーヤカーテン
高さ8mのネット

エコチームPJ T 高橋由紀子

竹林再生PJT



金ヶ原竹林「小鳥がさえずる憩いの森」づくりも3年目を迎え少しづつ形が見えてきました。今年の冬に植えた桜(陽光)3本の他にミカン、リンゴ、栗柿、小檜、南天。皆、新芽を出し青葉が繁ってきました。

6月の作業日から取りかかったトイレ作りも完成に近づいています。さらに井の内の作業場に使用されずに置かれていた水槽(巾1.3m×1.7m深さ80cmウレタン樹脂製)を作業小屋の屋根からの雨水を受けられる場所に移設しました。すでに今年生まれた「メダカ」の稚魚10尾も6月23日に梅花藻と共に入れました。今年中に生魚となり来年5月には又稚魚が生まれてメダカの学校が見られることでしょう。早く完成させて子供達が元気に飛び跳ねる姿を楽しみにしています。(写真左)

竹林再生PJ T 湯川圭造

★★★ 環境の都づくり会議のプロジェクトと連絡先 ★★★

プロジェクト名	内 容	連絡先	T E L
里山再生PJT	森林ボランティア他	加藤 克巳	951-0933
環境教育PJ T	環境教育ミーティング	西村 日出男	952-3718 FAXも同じ
エコチームPJ T	地球温暖化防止への取組み	田原 誠一郎	953-1696
ビオトープPJ T	ビオトープや川あそび	小根田 勝信	957-4081
花を咲かそうPJ T	街角花いっぱい運動	湯川 智子	952-5505
まち歩きPJ T	市内を歩いて再発見(地元学入門)	< 休 止 中 >	
竹林再生PJ T	竹林再生	湯川 圭造	090-8759-1757

「環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。協賛金 一口年間1000円(一口以上) あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。連絡、問い合わせは上記プロジェクトの連絡先へ下さい。

編集後記 従来はダニやバクテリア、菌類などは汚い・有害と考えられていたが最近の科学では人間の営みに有用不可欠なものも多く有るとしています。子供を育てた時代は清潔第一でしたが、孫には土や泥に触れ、多少の汚れを気にしないぐらいのおおらかな育て方だと思います。無菌に近い清潔な所で育った日本人が、海外での病気感染に最も弱いのは、感染経験少なく、免疫力が劣るのが一つの要因だと思っています。今、我々(シニア)の活動の殆どは孫世代対象です。子供と出来なかった泥んこ遊びをしているメンバーも多いと思います。(文;山本)